

授乳期乳房の解剖学的構造

乳腺組織と脂肪組織

クーパー靭帯

乳腺組織と脂肪組織の構造を支えている

乳腺後脂肪組織

乳房内の後方、胸壁付近に位置する脂肪組織

乳腺内脂肪組織

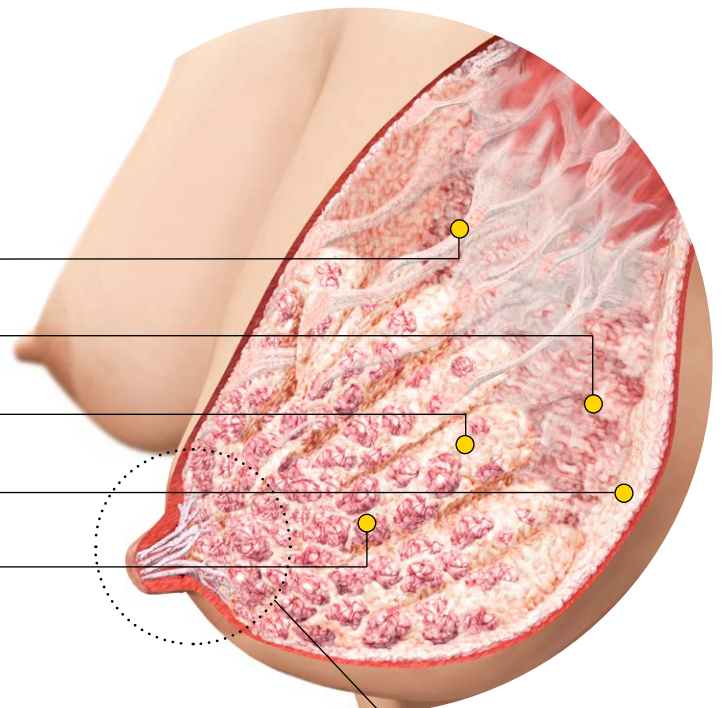
乳腺組織の間に存在する脂肪組織

皮下脂肪

皮膚の直下に位置する脂肪組織

乳腺組織

乳汁を産生し輸送する組織



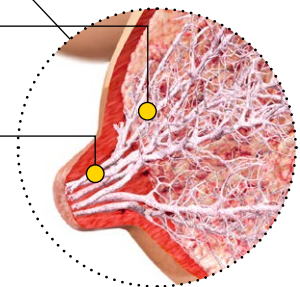
複雑な乳管の分布

細乳管

乳房全体に分岐しており、乳腺組織から主乳管へ乳汁を運ぶ役割を持つ

主乳管

乳頭表面に開口する乳管（4～18本の範囲）。従来存在すると言われていた乳管洞は存在しない



臨床へ影響と重要性

乳管洞がないことから、乳管に蓄積される乳汁は全体の4%未満である。そのため、より多くの乳汁を得るためには射乳反射が不可欠である。ストレスは射乳反射を抑制するため、母親が心地よくリラックスすることが重要である。

乳腺組織の65%は乳頭基部から半径30mm以内に位置しており、乳管は乳房の表層付近にも存在する。そのため、皮膚表層付近を圧迫すると、乳汁の流れが妨げられる可能性がある。

脂肪組織量と乳腺組織量は女性によって異なる。乳汁産生量は乳房の脂肪組織量ではなく乳腺組織量に関係する。

 Medela AG
Lättichstrasse 4b
6341 Baar, Switzerland
www.medela.com

International Sales
Medela AG
Lättichstrasse 4b
6341 Baar, Switzerland
Phone +41 41 562 51 51
www.medela.com

Japan
Medela Japan
13F 2-26-2 Sasazuka,
Shibuya, Tokyo
Japan
Phone +81 3 3373 3450
Fax +81 3 3373 3457
info@medela.jp
www.medela.jp